



たけもりの里

—玉宮小学校だより—



NO.1 R5. 4. 21

文責：校長 小宮山 昇

令和5年度始動

4月6日(木)始業式、令和5年度がスタートしました。今年度は1年生を3名迎えて、全校児童24名となります。どの児童もひとつ上の学年に進級し、笑顔溢れる明るい表情から希望に満ちていることがわかりました。学年末・学年始めの休業に、頭も、心も、体も、しっかりと新学年の準備を整えてきたのでしょうか。新学年への希望と意欲を大切にしながら、新たな教職員スタッフで本年度の教育活動を進めて参ります。今年度もどうぞよろしくお願いたします。

○学校教育目標

「豊かな人間性を持ち、主体的に生きる児童の育成」

- (1) 進んで運動する子供
- (2) 進んで学習する子供
- (3) みんなと仲よくする子供
- (4) 郷土を愛する子供

○子どもたちの合言葉

「た・ま・み・や」の子

た……たくましい子

ま……まなぶ子

み……たまみやを愛する子

や……やさしい子

放課後遊び復活

コロナ感染症の行動基準も緩み、学校でも少しずつ以前の姿を取り戻しつつあります。児童が楽しみにしている放課後遊びも復活し、開放感を味わっています。



保護者配付版は「教職員スタッフ」の掲載でしたが、職員名の掲載は個人情報にもあたるため、地域回覧板は差し替えをしております。ご了承ください。

新任式・始業式

4月6日(木)に新任式が行われ、新任の先生には、児童を代表して児童会長の温かな歓迎の言葉がありました。また、始業式では新年度の玉宮小教職員の紹介が行われました。新しい担任の先生も発表され、新鮮な気持ちでのスタートとなりました。



入学式

4月7日(金)に入学式が行われ、3名の男児が入学しました。担任が呼名をすると、大きな声で返事ができました。入学おめでとうございます。

お兄さんやお姉さんと一緒に、毎日元気に学校に登校してほしいと思います。

努力のつぼ

全校集会での校長の話

「努力のつぼ」の話をします。

努力とは「がんばること」ということです。

このつぼは目には見えないけれど、誰でも生まれつき持っています。

つぼの中に一生懸命「努力」を入れていくと

それが少しずつ溜まって、いつか「努力」があふれる時がきます。

努力があふれる瞬間が、出来るようになるときです。

そのつぼには、いろいろな大きさがあります。

「なわとびで交差とびができるようになりたい。だから一日10回練習しよう」と努力をためていきます。

でもこのつぼはどのくらいたまっているか目に見えません。

自分ではあと少しでいっぱいになると思っても、まだまだかもしれません。

そうすると人はあきらめてしまうことがあります。

でも、そこでやめてしまうと今までの苦勞がむだになってしまいますね。

だから、あきらめないでこのつぼに努力をためていってください。

そして、このつぼは、人によっても大きさが違うのです。

ある人は10回でできたのに、ある人は100回かかってしまうということがあります。

でも、努力を続けていけばいつかあふれてできるようになる日がきます。

小学校のこの時期はできることがたくさん増えていく時期です。

そんな努力のつぼをたくさん持ってください。

みんなががんばっていきましょう。



*「朝日作文コンクール 子どもを変えた親の一言 作文25選」を参考にしております。